

令和4年12月23日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 坪井 七夫
経営サポートセンター
リサーチグループリーダー 松本 庄平
担当 平内・佐藤 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

病院経営動向調査（2022年12月）の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、今後の病院経営や医療政策の適切な運営に寄与するため、病院経営における現場の声・実感や定期的な経営動向の変化を調査する仕組みとして、2019年から病院経営動向調査を四半期毎（3月、6月、9月、12月）に実施しています。今回は2022年12月に実施した本調査の結果についてご報告します。詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/hp-survey/>)に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：病院（337施設）を運営する法人260法人（うち、医療法人215法人）*法人調査対象は医療法人のみ
- 調査事項：病院および医療法人の収益・費用・利益、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、新型コロナウイルス感染症の影響および原油価格や物価高騰の影響
- 回答数：病院：243 医療法人：160 有効回答数：病院：243 医療法人：160
- 有効回答率：病院：72.1% 医療法人：74.4%
- 実施期間：2022年11月21日（月）～ 2022年12月12日（月）
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI（景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出）に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【病院の動向】

- 医業収益のDIは、一般病院が△17（前回調査より5%ポイント上昇）、療養型病院が2（同10%ポイント上昇）、精神科病院は△33（同1%ポイント上昇）となった。
- 医業収支（黒字・赤字）のDIは、一般病院が△8（前回調査とほぼ同水準）、療養型病院が43（同13%ポイント上昇）、精神科病院は5（同5%ポイント上昇）となった。
- 資金繰りのDIは、一般病院が3（前回調査より5%ポイント上昇）、療養型病院が4（同4%ポイント上昇）、精神科病院は△19（同3%ポイント上昇）となった。
- 従業員数のDIは、一般病院が△46（前回調査より4%ポイント低下）、療養型病院が△41（同6%ポイント低下）、精神科病院は△52（同9%ポイント低下）となった。
- 経営上の課題として「人件費以外の経費の増加」を挙げた病院は、一般病院が64.8%（前回調査より4.6ポイント上昇）、療養型病院が57.1%（同17.5ポイント上昇）、精神科病院が61.9%（同3.2ポイント上昇）となった。

【医療法人の動向】

- 事業収益のDIは△22（前回調査より12%ポイント低下）、事業収支（黒字・赤字）のDIは13（同7%ポイント低下）、資金繰りDIは1（同3%ポイント上昇）、従業員数のDIは△46（同3%ポイント低下）となった。

【その他】

- 原油価格や物価高騰による影響を受けていると回答した病院のうち、前年度同期比で水道光熱費が増加した施設は96.5%となった。変化幅の内訳をみると、前年度同期比で水道光熱費が20%以上増加したと回答した施設は61.3%を占めた。
- 病床確保料の受給実績がある病院のうち、2022年10月以降の適用要件変更に伴う影響を受ける見込みと回答した施設は64.4%であった。また、200床以上の一般病院においては74.5%が影響を受ける見込みと回答した。

以上